

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			適当数の人員になるように支援員が配慮する。利用定員によって場の環境を変えて活動の幅を広げるようにしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			利用者様に対して、プラス0.5の人員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3		利用者様に個々への対応を行っている。手すりの設置や机に緩衝材を貼っている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			日々のミーティングで情報共有や意見交換を行い気付いた点や支援の目標を話し合う。引継ぎノートを記入する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		行事の際などにアンケート調査を行い、その結果を業務改善に繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページに公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6			第三者委員会を年に1回行い、意見をいただいている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			毎月全職員が集まり研修を行っている。外部研修に積極的に参加している。
適切 な 支 援 の 提	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			面談や送迎時などに保護者様とコミュニケーションを取ることで計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			様々な作業道具やツールを使用し、一人ひとりにあった支援を提供している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			日々のミーティングを通して活動内容の立案を出し合い決定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			季節のイベントや調理訓練、施設外活動等を行い利用者様から提案されたプログラムも行い固定化しないようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			休日や長期休暇は日ごろ出来ない外での活動を多くし、社会経験や色々な事に挑戦する機会を作っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			

供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		前日の申し送り、今日の活動内容をミーティングで話し合い目標、目的を決めて支援している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		気になる点は支援中都度共有し、以外は翌日ミーティングで共有する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		活動記録を細かく記入することで、後日他支援員が見ても共有できるようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6		支援会を行い見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6		事業所の特色を出して支援するよう努めている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		児童発達支援管理責任者が参加している
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6		送迎時や学校に連絡をするなどして情報共有している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6		定期受診の情報を共有している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		6	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			現在は該当者がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	2	事業所の縁日や、屋外活動で関わる機会を設けている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		6	今後参加するように努める。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		送迎時やモニタリング、電話、日誌等で情報を伝えています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		6		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		支援内容は、パワーポイントを用いて説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		送迎や面談の際に相談に応じている。また、相談支援員さんと連携を取り迅速に対応している。

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			6	保護者会を開けていない為、今年度は開催するように計画を立てます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			第三者委員会、月1回サビ児会の開催をする。また、職員に虐待防止セルフチェックを行い、職員のセルフチェックを行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			週1回SNSやホームページで活動を投稿している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			書類類は鍵のかかる場所に保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			支援ツールを用いている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6			240RISING事業所全体の縁日を開催し地域住民の方と交流を持つことができた。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			事業所内に掲示している。 また研修への参加、保護者様には契約時に説明している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			最初の利用時、年に3回の合同訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			年2回の研修、外部研修に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			食物アレルギーの調査を行い対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		6		研修を行うことで共有している。 事例集は早急に作成する。